

こたえ 点字

ひょうじゅん 標準 ④

点字

点字は、目の不自由な人が、指でさわって読む文字です。紙にうき出た小さな点の組み合わせで、文字を表します。

点字の一つの文字は、たて三つ、横二列にならんだ、六つの点でできています。この六つの点のうち、どの点をうき出させるかによって、いろいろな文字や数字を表すことができるのです。

このしくみを考えたのは、フランスのルイ・ブライユという人です。ブライユは、小さいころに目が見えなくなりました。そして、十五才のころに、この六つの点の点字を考え出しました。

六つの点の点字は、やがて世界中に広まりました。日本でも、この点字をもとに、日本語を表す点字が作られ、今では、駅の券売機や、エレベーターのボタンなどにも使われています。

点字は、読むだけでなく、書くこともできます。点字を書くときは、専用の道具を使って、紙に点をうち出します。

1 点字は、どのようにして読みますか。

ア 目で見て

イ 指でさわって

ウ 音を聞いて

2 点字の一つの文字は、いくつの点でできていますか。

六

つの点

3 六つの点の点字を考えたのは、だれですか。

ル
イ
・
ブ
ラ
イ
ユ

4 点字が、身の回りのどんなところで使われているか、本文から二つ書きましょう。

駅の券売機、エレベーターのボタン

おうちの方へ

- 身の回りで点字をさがしてみましょう。かんじゅうスのふたなどにもあります。